

長野県知事

阿部 守一 様

要 望 書

2016年開催予定主要国首脳会議(サミット)

の長野県内誘致に関する要望

一般社団法人長野県経営者協会
長野県中小企業団体中央会
一般社団法人長野県商工会議所連合会
長野県商工会連合会
長野県市長会
長野県町村会

要 望 書

長野県知事におかれましては、平素より、長野県経済と地域全体の発展に格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、主要国首脳会議（サミット）は、経済や環境エネルギー問題など、世界が直面する様々な課題の解決を目指して、各国持ち回りで開催され、来るべき2016年には我が国、日本で開催される予定となっています。

今さら言うまでもなく、主要国首脳会議（サミット）は、各国首脳がそれぞれの立場や主張を乗り越えて、真剣な討議を重ねる重要な会議であるとともに、開催国、とりわけ開催地の魅力を世界に向けて発信するこの上ない貴重な機会でもあります。

さらに、2008年の北海道洞爺湖サミットの例からも、会議開催に伴う地元や周辺地域に対する経済的波及効果は、非常に大きなものとなることが期待できます。

長野県が昨年度から推進している「しあわせ信州創造プラン」においても、めざすべき「未来の信州」の姿の一つとして、「世界に貢献する信州」を掲げています。

そのためには、製造業や観光業などの産業分野においても、今まで以上に、グローバルな観点から、「NAGANO」を積極的に発信していくこととともに、教育面においても、次世代を担う子どもたちに、国際的に開かれた人間教育の場を提供する

ことが重要であり、サミット開催は、こうした世界により開かれた長野県づくりのためにも、格好の舞台を提供するものと考えられます。

加えて、2015年春に予定されている北陸新幹線（長野経由）の金沢延伸に伴い、首都圏からの輸送力アップやサービス環境の向上が期待される中で、2020年開催予定の東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成においても、首都圏から200km圏内に位置する長野県内でのサミット開催は大変意義深いものと考えます。

長野県内には、さわやかな自然環境により国内屈指の避暑地として多くの観光客が訪れている国際親善文化観光都市・軽井沢町をはじめ、1998年の冬季オリンピック・パラリンピック開催の中心都市となった長野市や世界的な音楽祭であるサイトウ・キネン・フェスティバルが毎年開催される松本市など、国際的な会議の開催候補地としてふさわしいところが数多くあります。

北海道洞爺湖サミット開催時においては、サミットの開催中やその前後において、道内各地で、子ども環境サミットなど多彩なイベントが開催され、地域全体の活性化にも効果があったと聞いていますので、広域的にプラスとなる形で、サミットを開催することが望ましいと考えています。

つきましては、今後、関係する自治体や経済団体が一丸とな

って、2016年の主要国首脳会議（サミット）の長野県内誘致に向けて活動を展開してまいりたいと考えておりますので、県においても、主体的にお取組みをいただきますよう、心からお願い申し上げます。

平成26年 6月18日

一般社団法人長野県経営者協会会長 山浦愛幸

長野県中小企業団体中央会会長 星沢哲也

一般社団法人長野県商工会議所連合会会長 北村正博

長野県商工会連合会会長 矢崎昭和

長野県市長会会長 松本市長 菅谷 昭

長野県町村会会長 川上村長 藤原忠彦